

## 災害復興

### 農業関係の災害復旧は

町長／今年度中完了を目指す



米丸文武議員

米丸 豪雨により町内全域が甚大な被害を受けたが、農地、農道、農業施設の災害復旧及び復旧支援の見通しは。

町長 作物に影響のある農地、農業施設等災害については、応急工事を実施しており、それ以外は12月中旬までに査定を受けながら今年度中に完了したい。  
ハウス災害等については、国・県の特例措置での園芸産地復旧緊急対策事業を受け、今月末の県の査定終了後、早急に着工します。

### 河川・県道・町道の復旧は

町長／一部を除き今年度中に

米丸 県が管理する河川や県道の被害状況とそれの見通しと、町が管理する河川、町道の被害状況とそれの見通しは。



道路の災害復旧工事現場（佐志地区）

町長 6月・7月の災害で県の管理する河川94件、県道17件、町の管理する河川95件、町道162件の被害があり、一部の大規模災害は来年度までかかる見通しであります。国の管理する河川は激特事業で5年間かかる見込みであります。

その他の質問  
・ 実質公債費比率について

## 人口減対策をどう考える

### 定住対策

町長／最重要課題と認識します



岩元涼一議員

岩元 国全体の人口が自然減少する中で、本町はそれ以上に人口減が進んでいる。特に周辺部はその傾向が著しい。その対策は。

町長 人口減対策は最重要課題であります。最も



永野保育所

力を注いでいるのが若者の働く場の確保であります。近いうちに日本特殊陶業(株)と工場拡張に伴う立地協定を結ぶことについてしています。このほかにも工場の拡張や進出の情報もあります。

引き続き重点的な取り組みを進めてまいります。

### 町立保育所廃止について

町長／やむを得ず廃止します

岩元 町立永野保育所が廃止されるようであるが、その基本的な考え方と今後の利用方法を含めた進め方について伺う。

町長 18年度は児童が7名まで減少し、教育的効果が発揮されにくく今後入所児童の増加が見込まない状況です。

コストが民間を大きく上回るなどからやむを得ず廃止の結論に達しました。  
施設は地域のご意見をお聞きして有効活用を図ります。